



順天堂大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 取組概要

実施の目的

本プログラムは、全ての学生がデータサイエンスやAIの基礎的な知識や技術を身につけることにより、Society5.0の社会でそれらを活用する能力や問題解決能力を育成することを目的としています。また、それらの知識や技能を自己の専門分野で活用し、様々な学びや今後の学習や研究の可能性を広げるとともに、社会にデータサイエンスの基礎的なスキルを持つ有為な人材を輩出することを目指します。

関連科目

A, B, C はコア科目

医学部	A ₁ データサイエンス基礎, B データサイエンス実践 I, C 統計解析のための数学, C 疫学・統計学・数理科学
スポーツ健康科学部	A ₁ B 情報処理演習, A ₂ データサイエンスのための数学
医療看護学部	A ₁ B ₁ C 情報科学, B ₂ C 統計学, C 統計演習
保健看護学部	A データサイエンス導入, B データサイエンス実践
国際教養学部	A ICTリテラシー, B わかりやすい統計, A ICT Literacy, B Introduction to Basic Statistics
保健医療学部	A 情報科学, B 統計学
医療科学部	A ₁ 情報科学基礎演習, A ₂ 情報科学概論, B 臨床統計学演習, A ₁ 情報科学基礎演習, A ₂ 医用情報処理工学, B 臨床統計学
健康データサイエンス学部	A ₁ B ₁ C データサイエンス概論, C コンピュータ概論, C コンピュータ基礎演習, C プログラミング演習 I / II / III, C オペレーティングシステム, C 情報セキュリティ I, C 微積分学 I / II, C 線形代数学 I / II, C 確率と統計 I / II, C データサイエンス基礎演習, C 情報倫理, C データ構造とアルゴリズム, C データベース, C 多変量データ解析, C 統計モデリング
薬学部	A データサイエンス基礎, B 統計学

修了要件

数理・データサイエンス・AI教育プログラムは、データサイエンス基礎(A)、データサイエンス実践(B)、データサイエンス応用(C)の3つの要素のコア科目で構成されています。

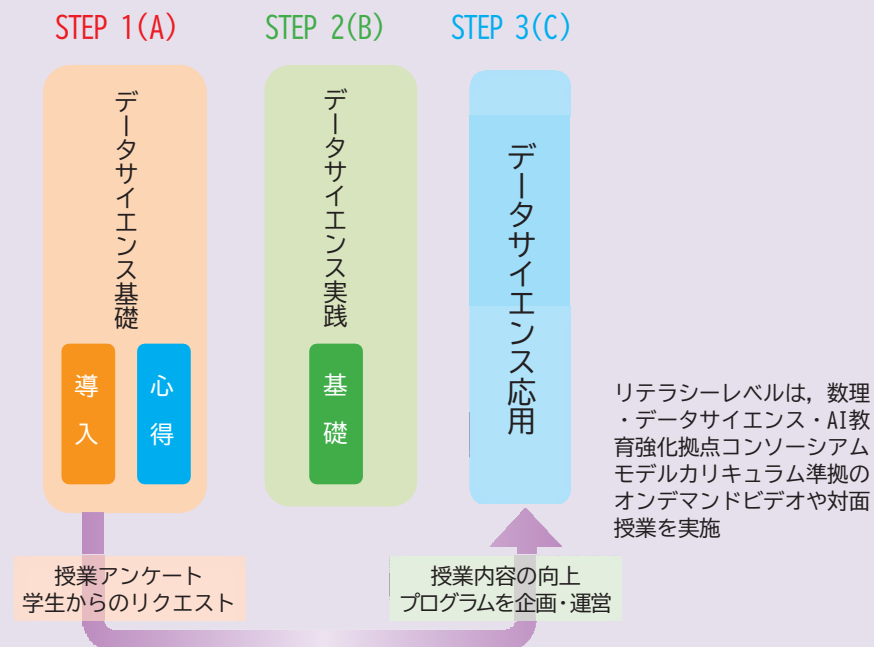
リテラシーレベルではA+Bを応用基礎レベルではCを修了することで、それぞれの数理・データサイエンス・AI教育プログラムを修了したことを認めます。

修了者には、デジタル修了証(オープンバッジ)を発行する予定です。

専門への応用

数理・データサイエンス・AI教育プログラムの基礎としてリテラシーレベルを全学で、専門科目や研究での応用を円滑に行うために、応用基礎レベルを各学部単位で進めています。

実施体制



実施組織：数理・データ科学教育研究センター

数理科学教育管理委員会

- ・関連科目の履修率向上のためのガイダンス
- ・関連科目の実施体制の見直し
- ・関連科目シラバスの点検
- ・新設関連科目に関する検討
- ・データサイエンス関連イベントの企画
- ・関連企業、外部人材との調整

数理科学教育点検・評価委員会

- ・関連科目の履修率・出席率・単位修得率の確認
- ・関連科目の授業評価アンケートの点検・評価
- ・関連科目の授業担当者アンケートの点検・評価
- ・企業、関係者との意見交換
- ・外部評価委員会との連携